



購読料 年8,000円
送料共 但し、会員は会費に含まれる

発行所
京都府保険医協会
〒604-8162
京都市中京区烏丸通蛸薬師上ル七観音町637
インターワンプレイス烏丸6階
電話 (075) 212-8877
FAX (075) 212-0707
編集発行人 久保 佐世

主な内容

特集・第67回定期総会(2・3面)
豪雨災害での留意事項(4面)

ご用命はアミスまで

- ◆医師賠償責任保険
- ◆休業補償制度(所得補償、傷害疾病保険)
- ◆針刺し事故等補償プラン
- ◆自動車保険・火災保険

☎075-212-0303

今こそ開業医医療の真価を訴えるとき

第67回定期総会で方針等確認

協会は7月27日、第67回定期総会(第187回定時議員会合併)を市内のホテルで開催した。総会は、105人(代議員68人、一般会員13人、理事者24人)が出席し、2013年度活動報告および2014年度活動方針、協会入居ビル名に関わる規約改正、決議案を採択した。

13年度協会活動を総括
13年度の活動を鈴木由一副理事長が総括。協会は、社会保障・税一体改革やTPPに対する取り組みで、政府の報告書等に対して話や要望書を関係各所に提出するなど、協会の見解をいち早く表明。医療産業化問題や特定秘密保護法、集団的自衛権の問題にも取り組んだことを報告した。また、京都市身体障害者



14年度基本方針案を提案する垣田理事長

14年度基本方針案を提案する垣田理事長

女性帝王切開創痕部に癒着を伴う全前置胎盤のため、福島県立の病院産婦人科にて、2004年12月17日(29週6日)腰麻酔下で、K医師(96年5月医師免許)執刀にて帝王切開術が午後2時26分開始され、37分3000gの女児を娩出した。胎盤の剥離に臍帯を引っ張ったが子宮が反転して持ち上がり、右手指を胎盤と子宮壁の間に入れ剥離し、癒着する部分はクーパー鋏で切離し50分に胎

6時0分には血圧60弱/約

要望書を送付し、早急に改善を求める運動を進めた。また、「点数表改定のポイント」をはじめ、保険点数に関する書籍も従来どおり発行。書籍をテキストにした点数改定説明会や在宅医療点検、公費負担医療に関する説明会を開催するなど、会員の要望に寄り添った1年間の活動を振り返った。

大転換する医療制度に立ち向かうために

続いて、渡邊副理事長から情勢報告が行われた。今、安倍政権は、成長戦略の名のもと、改憲と新自由主義改革を着実に推し進めている。これは、日本の構造改革を新たな段階へ引き上げ、国の形を変え、従来からの制度の枠組みを解体し、組みかえるものだ。その中で社会保障分野でも医療制度の大転換を図ろうとしていると指摘した。

医療事故調査

制度について、訴訟事例を例示し、関連する論点を述べる。

事例は、29歳女性が帝王切開創痕部に癒着を伴う全前置胎盤のため、福島県立の病院産婦人科にて、2004年12月17日(29週6日)腰麻酔下で、K医師(96年5月医師免許)執刀にて帝王切開術が午後2時26分開始され、37分3000gの女児を娩出した。胎盤の剥離に臍帯を引っ張ったが子宮が反転して持ち上がり、右手指を胎盤と子宮壁の間に入れ剥離し、癒着する部分はクーパー鋏で切離し50分に胎

医療事故調査では医療実施担当者にも個別に弁護士を!

裁判所は、「臨床に携わっている医師に医療措置上の行為義務を負わせ、その義務に反した者には刑罰を科す基準となり得る医学的準則は、当該科目の臨床に携わる医師が、当該場面に直面した場合に、ほとんどそのものがその基準に従った医療措置を講じている」と言える程度で、一般性あるいは「通常性を具備」する必要がある。「医療行為を中止する義務には、...相当数の根拠となる臨床症例、あるいは対比すべき類似性のある臨床症例の提示が必要不可欠」として、一部の医学文献、一鑑定だけでは立証が尽くされず、癒着胎盤の認識により直ちに剥離中止と子宮摘出術等への移行が医学的準則であったとは認められず、胎盤剥離の継続は注意義務違反とならないとして、無罪を言い渡した(医師法21条違反に関する(福島地判平成20・9・17、確定、L1/I/DB判例秘書)。

医療事故調査では、県、管理者など開設者側と執刀医など医療実施当事者側とで過失などの違法性評価と損害賠償や刑事罰などへの有責性評価が相違し、両者間で利益・損害が抵触する場合、実施当事者にも別に弁護士との相談が要する。医師賠償責任保険は、過失責任主義に基づき、保険金支払いは要件上過失を要し、これが刑事過失の評価に連動する危険もあり慎重な認定作業が求められる。刑事事件に関わる弁護士費用・訴訟費用(1年間500万円まで)の特約付帯もあり、相談されたい。

健康である。しかしその「夢」を叶えるためには、自分の施設の存続を図る必要がある、その立場の違いにより主張・要求が異なってくることもある▼消費税による「損税」解消のため要求で医療団体の主張が割れている。保険医協会は以前から「ゼロ税率」を主張し、これからも要求を続けていく。病院団体は消費税増徴を主張しているのが目につく。我々はこれには患者負担増、二重課税の疑いなどの問題があり反対しているが、課税を主張せざるを得ない病院の経営状態については十分認識しなければならぬ▼繰り返しているが、医療関係者の共通の望みは国民の健康である。まさに異構同夢であるが、望みが共通であれば、どこかで一致できるのではないかと考えている。目前に迫る消費税10%時代に向けて、損税問題の解決のため医療界の団結が求められる。同床異夢という言葉を考えて。(内)

主張

医療事故調査

制度について、訴訟事例を例示し、関連する論点を述べる。

事例は、29歳女性が帝王切開創痕部に癒着を伴う全前置胎盤のため、福島県立の病院産婦人科にて、2004年12月17日(29週6日)腰麻酔下で、K医師(96年5月医師免許)執刀にて帝王切開術が午後2時26分開始され、37分3000gの女児を娩出した。胎盤の剥離に臍帯を引っ張ったが子宮が反転して持ち上がり、右手指を胎盤と子宮壁の間に入れ剥離し、癒着する部分はクーパー鋏で切離し50分に胎

30、脈拍140、5分に心室頻拍を併発し、7時1分死亡した。総出血量は2万445mlであった。

県の医療事故調査委員会が、欠刀で癒着胎盤を剥離した際の出血性ショック死で

大転換する医療制度に立ち向かうために

続いて、渡邊副理事長から情勢報告が行われた。今、安倍政権は、成長戦略の名のもと、改憲と新自由主義改革を着実に推し進めている。これは、日本の構造改革を新たな段階へ引き上げ、国の形を変え、従来からの制度の枠組みを解体し、組みかえるものだ。その中で社会保障分野でも医療制度の大転換を図ろうとしていると指摘した。

医療事故調査では医療実施担当者にも個別に弁護士を!

裁判所は、「臨床に携わっている医師に医療措置上の行為義務を負わせ、その義務に反した者には刑罰を科す基準となり得る医学的準則は、当該科目の臨床に携わる医師が、当該場面に直面した場合に、ほとんどそのものがその基準に従った医療措置を講じている」と言える程度で、一般性あるいは「通常性を具備」する必要がある。「医療行為を中止する義務には、...相当数の根拠となる臨床症例、あるいは対比すべき類似性のある臨床症例の提示が必要不可欠」として、一部の医学文献、一鑑定だけでは立証が尽くされず、癒着胎盤の認識により直ちに剥離中止と子宮摘出術等への移行が医学的準則であったとは認められず、胎盤剥離の継続は注意義務違反とならないとして、無罪を言い渡した(医師法21条違反に関する(福島地判平成20・9・17、確定、L1/I/DB判例秘書)。

医療事故調査では、県、管理者など開設者側と執刀医など医療実施当事者側とで過失などの違法性評価と損害賠償や刑事罰などへの有責性評価が相違し、両者間で利益・損害が抵触する場合、実施当事者にも別に弁護士との相談が要する。医師賠償責任保険は、過失責任主義に基づき、保険金支払いは要件上過失を要し、これが刑事過失の評価に連動する危険もあり慎重な認定作業が求められる。刑事事件に関わる弁護士費用・訴訟費用(1年間500万円まで)の特約付帯もあり、相談されたい。

健康である。しかしその「夢」を叶えるためには、自分の施設の存続を図る必要がある、その立場の違いにより主張・要求が異なってくることもある▼消費税による「損税」解消のため要求で医療団体の主張が割れている。保険医協会は以前から「ゼロ税率」を主張し、これからも要求を続けていく。病院団体は消費税増徴を主張しているのが目につく。我々はこれには患者負担増、二重課税の疑いなどの問題があり反対しているが、課税を主張せざるを得ない病院の経営状態については十分認識しなければならぬ▼繰り返しているが、医療関係者の共通の望みは国民の健康である。まさに異構同夢であるが、望みが共通であれば、どこかで一致できるのではないかと考えている。目前に迫る消費税10%時代に向けて、損税問題の解決のため医療界の団結が求められる。同床異夢という言葉を考えて。(内)

リハビリテーションセンター附属病院廃止問題をめぐっては、京都市と懇談を行い、会員から集めた署名を提出するとともに、廃止撤回と京都市の公的リハ機能拡充を求めた。

診療報酬関連では、2014年度診療報酬改定における不合理点数について、中医協をはじめ関係各所に要望書を送付し、早急に改善を求める運動を進めた。また、「点数表改定のポイント」をはじめ、保険点数に関する書籍も従来どおり発行。書籍をテキストにした点数改定説明会や在宅医療点検、公費負担医療に関する説明会を開催するなど、会員の要望に寄り添った1年間の活動を振り返った。

大転換する医療制度に立ち向かうために

続いて、渡邊副理事長から情勢報告が行われた。今、安倍政権は、成長戦略の名のもと、改憲と新自由主義改革を着実に推し進めている。これは、日本の構造改革を新たな段階へ引き上げ、国の形を変え、従来からの制度の枠組みを解体し、組みかえるものだ。その中で社会保障分野でも医療制度の大転換を図ろうとしていると指摘した。

医療事故調査では医療実施担当者にも個別に弁護士を!

裁判所は、「臨床に携わっている医師に医療措置上の行為義務を負わせ、その義務に反した者には刑罰を科す基準となり得る医学的準則は、当該科目の臨床に携わる医師が、当該場面に直面した場合に、ほとんどそのものがその基準に従った医療措置を講じている」と言える程度で、一般性あるいは「通常性を具備」する必要がある。「医療行為を中止する義務には、...相当数の根拠となる臨床症例、あるいは対比すべき類似性のある臨床症例の提示が必要不可欠」として、一部の医学文献、一鑑定だけでは立証が尽くされず、癒着胎盤の認識により直ちに剥離中止と子宮摘出術等への移行が医学的準則であったとは認められず、胎盤剥離の継続は注意義務違反とならないとして、無罪を言い渡した(医師法21条違反に関する(福島地判平成20・9・17、確定、L1/I/DB判例秘書)。

医療事故調査では、県、管理者など開設者側と執刀医など医療実施当事者側とで過失などの違法性評価と損害賠償や刑事罰などへの有責性評価が相違し、両者間で利益・損害が抵触する場合、実施当事者にも別に弁護士との相談が要する。医師賠償責任保険は、過失責任主義に基づき、保険金支払いは要件上過失を要し、これが刑事過失の評価に連動する危険もあり慎重な認定作業が求められる。刑事事件に関わる弁護士費用・訴訟費用(1年間500万円まで)の特約付帯もあり、相談されたい。

健康である。しかしその「夢」を叶えるためには、自分の施設の存続を図る必要がある、その立場の違いにより主張・要求が異なってくることもある▼消費税による「損税」解消のため要求で医療団体の主張が割れている。保険医協会は以前から「ゼロ税率」を主張し、これからも要求を続けていく。病院団体は消費税増徴を主張しているのが目につく。我々はこれには患者負担増、二重課税の疑いなどの問題があり反対しているが、課税を主張せざるを得ない病院の経営状態については十分認識しなければならぬ▼繰り返しているが、医療関係者の共通の望みは国民の健康である。まさに異構同夢であるが、望みが共通であれば、どこかで一致できるのではないかと考えている。目前に迫る消費税10%時代に向けて、損税問題の解決のため医療界の団結が求められる。同床異夢という言葉を考えて。(内)

健康である。しかしその「夢」を叶えるためには、自分の施設の存続を図る必要がある、その立場の違いにより主張・要求が異なってくることもある▼消費税による「損税」解消のため要求で医療団体の主張が割れている。保険医協会は以前から「ゼロ税率」を主張し、これからも要求を続けていく。病院団体は消費税増徴を主張しているのが目につく。我々はこれには患者負担増、二重課税の疑いなどの問題があり反対しているが、課税を主張せざるを得ない病院の経営状態については十分認識しなければならぬ▼繰り返しているが、医療関係者の共通の望みは国民の健康である。まさに異構同夢であるが、望みが共通であれば、どこかで一致できるのではないかと考えている。目前に迫る消費税10%時代に向けて、損税問題の解決のため医療界の団結が求められる。同床異夢という言葉を考えて。(内)

健康である。しかしその「夢」を叶えるためには、自分の施設の存続を図る必要がある、その立場の違いにより主張・要求が異なってくることもある▼消費税による「損税」解消のため要求で医療団体の主張が割れている。保険医協会は以前から「ゼロ税率」を主張し、これからも要求を続けていく。病院団体は消費税増徴を主張しているのが目につく。我々はこれには患者負担増、二重課税の疑いなどの問題があり反対しているが、課税を主張せざるを得ない病院の経営状態については十分認識しなければならぬ▼繰り返しているが、医療関係者の共通の望みは国民の健康である。まさに異構同夢であるが、望みが共通であれば、どこかで一致できるのではないかと考えている。目前に迫る消費税10%時代に向けて、損税問題の解決のため医療界の団結が求められる。同床異夢という言葉を考えて。(内)

集中豪雨災害に対し心よりお見舞い申し上げます

協会では、この間、集中豪雨の被害に遭われた医療機関を訪問させていただいております。現在、30医療機関(38会員)からご報告いただいておりますが、まだ協会へご連絡いただけない場合は、ご一報ください。協会は行政に対して、防災上の措置や被災後の復旧支援など、早急かつ特段の配慮を求めていくとともに、風水害等により床上・床下浸水等の被害に遭われた会員に対して、医療施設、居室を問わず、お見舞金を支給しております。(関連4面)

医	界
寸	評

同床異夢
という言葉は、よく使われるが、その対義語は何かと気になった。異床同夢とは聞いたことがないので、調べてみたところ「榻」とは牛車から牛を外したとき、その部分を支え、乗り降りの際には踏み台とする台、だそうである▼医療関係者の全員の夢は目の前の患者の病気を治し、元気になってもらうこと。ひいては国民の健康である。しかしその「夢」を叶えるためには、自分の施設の存続を図る必要がある、その立場の違いにより主張・要求が異なってくることもある▼消費税による「損税」解消のため要求で医療団体の主張が割れている。保険医協会は以前から「ゼロ税率」を主張し、これからも要求を続けていく。病院団体は消費税増徴を主張しているのが目につく。我々はこれには患者負担増、二重課税の疑いなどの問題があり反対しているが、課税を主張せざるを得ない病院の経営状態については十分認識しなければならぬ▼繰り返しているが、医療関係者の共通の望みは国民の健康である。まさに異構同夢であるが、望みが共通であれば、どこかで一致できるのではないかと考えている。目前に迫る消費税10%時代に向けて、損税問題の解決のため医療界の団結が求められる。同床異夢という言葉を考えて。(内)